

伝達講習

鹿児島県児童発達管理責任者基礎研修

開催日

- (1) 相談支援従事者初任者研修 前期 令和4年8月29日～9月5日（オンデマンド）
- (2) 児童発達支援管理責任者基礎研修
 - 全体共通 令和4年9月21日～28日（オンデマンド）
 - 基礎
 - ・令和4年10月26日～27日（川東も・福元り・川東こ）受講
 - ・令和4年11月24日～25日（原口）受講

内容

(1) 相談支援従事者初任者研修 前期講義（オンデマンド）

①相談支援の目的 90分②相談支援の基本的視点（障害児者支援の基本的視点）150分③障害者総合支援法等の理念・現状とサービス提供のプロセス及びその他関連する法律等に関する理解 90分④障害者総合支援法等における相談支援（サービス提供の基本）90分⑤ライフステージを繋ぐ支援（相談支援における地域への視点）90分⑥相談支援に必要な技術 60分⑦相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス 120分

※受講後振り返りシート、レポート、確認テスト提出

(2) 児童発達支援管理責任者基礎研修 全体共通 講義（オンデマンド）

①サービス提供の基本的な考え方 60分②サービス提供のプロセス 90分③サービス等利用計画と個別支援計画の関係 90分④サービス提供における利用者主体のアセスメント①60分 ⑤サービス提供における利用者主体のアセスメント②90分 ⑥個別支援計画作成のポイントと作成手順 60分

※受講後レポート、確認テスト提出

基礎研修（ZOOM）

1日目 鹿児島県子ども総合療育センターの機能と役割について（講義）

演習 利用者概要の把握とサービス担当者会議への参加準備、サービス担当者会議体験、ニーズの整理表の作成、個別支援計画にあたり母親との面接、個別支援計画の作成

2日目 個別支援計画の作成、グループ発表、モニタリング（サービス担当者会議）、個別支援計画修正案の作成、グループ発表

*相談支援従事者初任者研修（前期）及び児童発達管理（全体共通）では受講後レポートをまとめるにあたりその目的や基本的視点、法律等の学びを振り返りながら整理することができた。講義中に何度もあった本人主体の視点、エンパワメント・アプローチについては常に意識していきたいと感じた。基礎研修では7～8人のグループでロールプレイや個別支援計画の作成を行ったが、症例についてお互いの意見を出し合い、検討し、疑問があればファシリテーターにサポートをもらいながら作成を進めることができた。グループワークを通してチームで支援していくことの大切さを体験し学ぶことができた。